

〔施策の目標〕

技術・家庭科担当教員の実技に関する指導力を向上させるため、計画的、継続的に実技研修会を実施する。

〔事業計画〕

中学校技術・家庭科実技研修計画

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度			
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費		
中学校技術家庭科実技研修会	県	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	1,280名 320名 4会場 1,500千円 1,500×4	千円 6,000	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	1,600名 320名 4会場 1,500千円 1,500×5	千円 7,500

(3) 技術・家庭科指導法の改善

〔施策設定の理由〕

技術・家庭科は、近代生産技術、生活技術の基礎を養うため、実践的活動を主として学習させる教科である。したがって、その指導法はたえず改善され、単なる知識や理解の習得に終ることなく、技術的思考力を高め、技術的態度を身につける必要がある。しかしながら、前項で明らかにしたように、担当教職員の質的構成をみると、現況は必ずしも満足すべき状態ではない。当該教科の実技研修と並行して、その指導法の改善が必要である。

〔施策の目標〕

技術・家庭科担当教員の全員について、学習指導法の研修を行う。

〔事業計画〕

技術・家庭科学習指導法講習会

事業名	事業主体	昭和40～45年度		昭和46～50年度			
		事業内容・事業量	事業費	事業内容・事業量	事業費		
技術家庭科学習指導法講習会	県	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	1,280名 320名 4会場 1,000千円 1,000×4	千円 4,000	対象人員 単年度計画 参加人員 会場 単年度事業経費 期間内の事業費	1,600名 320名 4会場 1,000千円 1,000×5	千円 5,000